

短期留学報告書

北海道教育大学岩見沢校 スポーツ文化専攻
アウトドアライフコース 1年 田中ゆみ

今回の短期留学に行くことを決めた理由は、英語が苦手な私が、環境が変わることでどれだけ英語を身につけることができるのか、気持ちが変わるのかというのを試したかったからです。

シアトルでの生活

私のホストファミリーは母親が1人で暮らしていて、息子は家を出て1人暮らしをしている家でした。でも、息子は母親の家の近くにすんでいるので、休日は息子に色々なところへ連れて行ってもらったり、3人で買い物に行ったりしました。ホストマザーは娘のように私に接してくれて、息子は妹のように接してくれました。お互いの国の事を話したり教えてもらったりして、ホストファミリーとの生活そのものが生きている国際的な学習と英語学習になっていました。



コロンビアタワーからのスペースニードル

シアトルではバスが発達していておおよその場所はバスで行くことができます。授業が午前中で終わるので午後は学校のツアーに参加したり、シアトルの観光名所や行きたい場所へバスを使って友達と行ったりしました。そのためほとんどの観光名所、行きたかった場所へ行くことができました。さらに私は友達と二人で3週間の間に週末を使って高速バスを使って、カナダのバンクーバーにも行くことができました。片道4時間くらいでシアトルからバンクーバーまで行けるため、他にも多くの人がバンクーバーに行っていました。シアトルとはまた違った雰囲気が味わえ、とてもいい体験になりました。

シアトルは3週間の内、最初の2週間はほとんど毎日が雨でした。しかし、強い雨ではなく午前中で止んだり、午後から降ったりする、弱い雨でした。そのため現地の人は雨でも傘はさしません。フードやニット帽で補います。雨の日は持って行ったマウンテンパーカーがすごく役立ちました。サマータイムという時間のずれを調整するための時間調整があり、実際に1時間が無くなる様子を見ることができました。その日を境に晴れの日が多くなり、残りの1週間は今まであまり見えなかった山々や海の景色を見ることができました。

ワシントン大学

大学の敷地面積はとても広く、歩くだけでもとても楽しいです。大学の中にはフードコートやボウリング場、ビリヤードなど生徒が遊べる場所もあります。桜が沢山植えてある広場もあり、満開の桜を見ることができました。私たちが平日毎日通っていた英語のクラスは飲食店などが多く並ぶ場所の近くでした。そこでの英語学習は、自分の能力に合った授業を受ける事ができ、背伸びしなくてもよい環境がとても居心地が良かったです。このおかげでクラスメイトと共に、伸び伸びと楽しく英語の学習をする事ができました。クラスメイトは他のいろいろな大学から参加して来た日本の大学生でした。そこでの新しい出会いもあり面白かったです。英語の学習方法は自由に歩いて友達と会話を交わしたり、外に出て行ってお店で質問したり注文したりと、実際に自分で行動に移すことで自然と身につけることができる授業でした。先生もとてもフレンドリーで優しく、例えどんなに小さいことでも質問できる本当にいい先生でした。毎日、先生やクラスメイトと顔をあわせることをすごく楽しみにしていました。

ワシントン大学の入口



振り返って

英語で生活するにあたって一番大変だったことは発音でした。同じ単語を言っていたとしても、正しい発音でないと理解されにくくなったり、伝わらなくなったりします。このプログラムに参加する前に勉強して行こうと思っている人は是非、発音の勉強も一緒にすることをお勧めします。更に、文法通りに話せなくても単語を言えれば伝わるこ

STEPクラス 修了証書授与



とがたくさんあったので、単語を少しでも多く覚えて行くといいと思います。ちなみに私は、向こうでバスに乗っている間に単語帳を開いていましたが、やはり先に日本でやっておくのがベストだと感じます。

このプログラムに参加する前は不安なことがたくさんありましたが、参加後は本当に挑戦して良かったと思いました。たくさんの人に出会ったことで日本から遠く離れた国でも、自分の事を知ってくれている人達がいて応援してくれている人達がいるということが、私の今の力の源になっている気がします。